

## 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

東京都立八丈高等学校 定時制課程

### 1. 組織

- (1) 東京都立八丈高等学校 学校運営連絡協議会 (定時制課程)
- (2) 事務局の構成  
副校長 主幹教諭 (教務部主任 生活指導部主任) 2名 主任教諭 (進路部主任) 計 4名
- (3) 内部委員の構成  
校長 副校長 経営企画室長 主幹教諭 (教務部主任) 主幹教諭 (生活指導部主任)  
主任教諭 (進路部主任) 計 6名
- (4) 協議議員の構成  
地域自治体首長 地域教育委員会教育長 近隣中学校長 地域官公庁から 5名  
PTA 会長 地域有識者 計 10名

### 2. 令和3年度 学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会 (第1回～第3回) の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和3年 5月 7日 (金)  
協議委員委嘱 委員紹介 評価委員の選出
  - 第2回 令和3年 10月 22日 (金)  
教育活動中間報告及び学校評価アンケート案提示  
全日制課程「島民会議」概要報告 定時制課程「防災教育探究指定校」報告  
島留学生フォーラム実施報告
  - 第3回 令和4年 2月 3日 (木) (感染症拡大防止のため 書面開催)  
教育活動の年間総括 非認知能力の育成とその考察  
学校評価アンケート集計結果 来年度への課題
- (2) 評価委員会の開催日時会場 出席者 内容 その他
  - 第1回 令和3年 5月 7日 (金)  
学校評価の基本方針の確認 昨年度の学校評価の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回 令和3年 10月 22日 (金)  
今年度の学校評価の観点・項目・内容の検討 実施時期の検討
  - 第3回 令和4年 2月 3日 (木) (感染症拡大防止のため 書面開催)  
学校評価アンケート集計結果 来年度への課題

### 3. 学校運営連絡協議会による学校評価 (学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点  
「学校生活の充実度」「学習及び部活動等への意欲」「進路希望の実現」「地域との連携」の観点で実施する。

## (2) アンケート調査の実施時期・対象・回収数・回収率

12月	在籍生徒	対象：24名	回収：23名	回収率 95.8%
12月	保護者	対象：23名	回収：7名	回収率 30.4%
12月	教職員	対象：16名	回収：16名	回収率 100.0%
12月	地域教育関係者	対象：37名	回収：37名	回収率 100.0%

## (3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、学校行事及び部活動、防災教育、健康と安全施設・設備、教職員のライフワークバランスなどの評価項目を学校の実態に合わせて適宜設定する。

## (4) 評価結果の概要

- ・「授業への満足度」は23名中21名の生徒がとても良い、良いと回答しており、ICT タブレット活用など分かりやすい授業の成果が見られる。
- ・生徒数の増加により、授業内での一人一人の生徒への発問、声掛けの回数が若干減っている。
- ・行事、部活動において参加率が高く、積極的に授業外の活動に取り組んでいることがわかる。しかし、その一方で集団での活動に苦手意識を持つ生徒も複数いるため、教員が細やかなフォローをしている。
- ・地域との連携について、「防災教育研究指定校」「地域の外部指導員による講習会」、「中学校への出前授業」により積極的に取り組んでいることが評価されている。

## 4. 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた意見（全日制課程 定時制課程）

- ・コロナ禍での教育活動は大変だが対処していただきありがたい。八文学、島の産業との連携、ICT 活用などの取り組みを島の小中との連携を含めよろしくお願ひしたい。青島分教室の開設に伴う兼務の解消、職員増員の要望や島での雇用確保については商工会に話す。
- ・島の中学生が都内の高校に進学する数が減ってきた。中3だけでなく中2、中1へも八高の魅力を丁寧にアピールし、八高へ進学したいと思う生徒を増やしていただきたい。授業の様子をアップするなど、ホームページの更新を週に1回くらいの頻度で行ってもらおうと、八高の様子がわかってよいのではないかと。ICT 教材の開発を小中では2年かけて行っている。八高とも教材を共有できるようにしていただきたい。
- ・八高生のヘルメットの着用が多くなり中学生への影響を考えると喜ばしい。中学では八丈方言を学んでいる。八高の生徒をお呼びすることは今の状況下ではできないが、先生方にはぜひ来ていただき八文学の一環として学べる機会としてほしい。
- ・救命講習について、コロナ禍に対応した講習を学校行事に協力して実施していきたい
- ・一人暮らし生徒の情報を共有したい。本日は薬物乱用防止教室を初めてオンラインで実施した。不慣れで申し訳なかったが、今後もよろしくお願ひしたい。
- ・定時制島外受験生の親子と面談できた。島に定住する貴重な存在なので島全体で受け入れを考えていくことが必要だが、虫よけの対策や網戸の修理など生活のこまごまとした相談も子家センに来るようになった。島留学生の課題や、学校が子家センに求めること、島企業への要望など整理して相談先一覧を作成するなど検討してほしい。

## 5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

### (1) 学校運営

- ・公式ホームページ及び Twitter を定期的に更新し、八丈高校定時制課程について広く知ってもらおう。

- ・防災教育研究指定校として、地域と協働した取組みを次年度も継続して取り組む。

## (2) 学習指導

- ・「じっくり ゆっくり 分かるまで」の本校教育目標を達成するため、4年間を通じた教育課程を編成し、きめ細やかで究極の少人数教育を実践していく。
- ・振り返り週間を活用し、自らの学習への取り組み方、成果の見える化と観点別評価につなげていく。

## (3) 特別活動

- ・生徒会を中心に生徒、教職員全体で取り組める行事を企画運営し、責任感、段取り力、コミュニケーション能力といった非認知能力の育成を図る。

## (4) 生活指導

- ・SNS八定ルールの見直し、マナー教育等を繰り返し、生徒たちの社会性を育む教育をする。
- ・18歳成人年齢引き下げに伴い、消費生活のトラブル等、心構えについて話し合い活動等を通じ、意識の向上を図る。
- ・自動車、オートバイ、自転車に対し、警察署と連携して年間を通じた安全教育を実践する。

## (5) 進路指導

- ・4年間を通じたキャリア教育を担当、進路指導を中心に計画し、生徒の進路希望実現にむけて取り組む。
- ・企業訪問などを通じ、「島内外の就職先企業を確保していく。

## (6) 健康・安全

- ・栄養士による食育講話を定期的実施し、食事と健康についての意識の向上を図る。
- ・給食後の歯磨き指導など、基本的な生活習慣の定着にむけて取り組む。

## 6. 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 10人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
10						

## 7. 職員研修・連絡会及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員研修・連絡会 2回（特別支援教育） 企画調整会議 0回

## 8. その他（総括）

- ・在籍生徒が増加する中で、新学習指導要領に基づく新教育課程が令和4年度より始まる。生徒一人一人の本校入学までの各教科の習熟度を把握し、4年間を見据えて、学力を伸ばし、卒業後の進路実現を達成できるよう教員が一丸となって取り組まなければならない。また、特別支援教育としてSCや外部の専門機関、更には町の小、中学校と連携を取っていく必要がある。
- ・今後も続くと思われるコロナ禍における教育活動を継続させるために、オンラインに対応できるスキルを全教職員で習得し、一人一台端末のより一層の活用をすすめていく。
- ・保護者への教育活動の伝え方の工夫として、島内外の保護者会をオンラインでも可能にするなど、より多くの保護者が参加できるようにする。